



一步成長した夏！

～サマー学習と緑の少年団～

教育長 津野庄一郎

8月3日（月）から5日（水）までの午前、関川小学校で教育課主催の「小学生夏休みサマー学習」が開催され、17名の児童が参加しました。指導者は村在住の退職校長会員、関川小学校元教員、関川中学校教育補助員の7名です。子どもたちは涼しく落ち着いた教室で、夏休みの課題などに黙々と取り組んでいました。

6年の児童は「限られた時間の中で集中して学習し、国語と算数合わせて11ページを丁寧に終わらせることができました」と振り返りました。指導者からは、今年は夏休み前半に日を設けたのが良かったとの声も聞かれ、スクールバスも適切に運行されるなど、子どもたちの学習を支えました。

7月31日（金）・8月1日（土）には、関川村緑の少年団の「少年自然の家合宿」が、1泊2日の日程で新潟県少年自然の家（胎内市乙）において行われ、小学校4年生から中学2年生の男女13名が参加しました。指導・引率は農林課と教育課の職員5名が務めました。楽しみにしていたカヌーはできませんでしたが、野外でのカレー作りをはじめ、きもだめしや花火、焼き杉板の工作、館内チャレンジなどさまざまな活動を楽しみました。4年生の児童は「すぎいたやきと花火、きもだめしがいちばん楽しかったです」と綴っています。また、5年生の児童は「カレー作りを頑張りました。ピーラーでニンジンの皮をむいたり、玉ねぎが目に痛くて苦戦したりしたけど、うまく切れてよかったです」と、調理に奮闘した様子を振り返っています。

学習にじっくりと向き合い、仲間と協力し、さまざまな体験を通して一回り成長した子どもたち。夏休みのひと時に、たくさんの学びと笑顔、そして仲間との思い出を刻みました。



<【写真】上：サマー学習の風景、下：グラウンドゴルフに挑戦する団員>